

新まちづくり計画(H16 ~ 18)事業総括調書

施策体系コード	2-2-3	事業名	乳幼児健康支援デイサービス事業(多様な保育サービスの充実)
担当	子ども未来局子育て支援部保育課 山本 幸治 TEL211-2986		
全体計画(当初)			
事業内容	病気回復期にあって集団保育が困難な就学前児童を、勤務の都合などにより家庭で保育できない保護者に代わって、病院などに付設した施設において一時的に預かり、看護師及び保育士によって健康状態をチェックしながら保育・服薬及び給食を行うことにより、保護者の子育てと就労の両立を支援する。市内3施設(東区・豊平区・手稲区)にて実施され、3施設合計で年間のべ1800人が利用している。	<年度別の事業内容>	
		<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度 3施設で実施。 平成17年度 3施設で実施。 平成18年度 4施設で実施。 	
事業内容(量・場所・規模等)	平成16年度事業内容(決算)	平成17年度事業内容(決算)	
	平成16年度は既存3施設にて事業実施を行った。 (平成16年度決算) ・既存3施設合計 23,684千円(1施設平均7,895円) ・年間利用延べ人数 1,819人(1施設平均 606人)	平成17年度は既存の3施設にて事業実施を行った。 (平成17年度決算) ・既存3施設合計 22,382千円(1施設平均7,461千円) ・年間利用延べ人数 1,772人 (1施設平均 591人) ・新規施設整備費 2,000千円	
事業内容(量・場所・規模等)	平成18年度事業内容(決算)	評価(成果)	
	平成18年度は、4月に厚別区に新規施設を開設し、合計4施設にて事業を実施した。 (平成18年度決算) ・4施設合計 29,745千円(1施設平均7,436千円) ・年間延べ利用児童人数 1,543人(1施設平均386人)	平成18年4月に新規1施設を開設したことによって、年度別事業内容どおり、4施設で事業を実施している。	
課題			
既存施設の所在地が東区・厚別区・豊平区・手稲区であることから、市内全域の市民の利用を可能とするには、更に新規施設の整備をする必要がある。			
19年度以降の方向性・事業の予定			
・共働き家庭の一般化や女性の社会進出が進み、子育てと就労の両立が可能な環境作りが求められている中、当該事業を利用する理由の約9割が「勤務の都合」であることから、今後のニーズは更に高まるものと考えられ、実施施設の拡充が必要となる。 ・さっぽろ子ども未来プランにおいては、平成21年度までに定員20人分の施設整備を予定しているが、さっぽろ子ども未来プランの早期達成に向けて、新規施設の整備・開設を進める必要がある。			

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書（単位：千円）